

ごあいさつ

平素より大垣西濃信用金庫に格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

ここに当金庫のディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただき、当金庫へのご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

2019年度は、付加価値の高いご提案ときめ細やかな支援によるお客さまの資産形成、事業成長に取り組んでまいりました。さらに、事業性評価に基づく課題把握を通じて、ライフステージに応じたコンサルティングの提供やビズ型経営相談等の推進に注力いたしました。

2019年度の日本経済を振り返りますと、消費税増税前の駆け込み需要の反動、自然災害及び暖冬による消費の伸び悩みに加え、新型コロナウイルスの感染拡大により、消費・生産活動は大きく停滞し先行不透明感が増しました。

2020年度の日本経済も、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、東京オリンピック、パラリンピックの開催延期に加え、

1カ月超に亘り全国に発令された緊急事態宣言を受けた自粛などの影響により、経済活動の縮小を余儀なくされております。そのなかで、当金庫の主要取引先である中小企業は、少子高齢化や人口減少に加え、新型コロナウイルスの影響による売上減少、資金繰りの悪化など、多くの経営課題に直面しております。

このような厳しい環境のなか、新型コロナウイルスの影響に伴う金融支援を迅速かつ丁寧に実行し、地域金融機関として地域のお客さまをお支えしていくことが、当金庫の使命であると考えております。2020年度は「働きがい改革」と「だいしんお役立ち宣言」をもとにした課題解決型全員営業に徹して「お客さまの幸せ実現」、「職員の自己成長」に繋げていけるよう実践してまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月17日

理事長 栗田 順公



会長 西脇 史雄

理事長 栗田 順公